



報告書

令和2年10月27日

小牧市議会議長 様

会派名 牧政会

代表 澤田 勝巳

研修・調査を行いましたので、その結果を報告します。

記

1 研修日

令和2年10月26日(月)

2 研修先及び項目

京都府京都市南区東九条下殿田町70

京都テルサ東館2階「視聴覚研修室」

議員の広報公聴・質問力レベルアップ講座

①市民と議会の「もやい直し」:議会広報と市民参加を考える

②一般質問の機能を発揮させる:政策をとらえる質問力

3 参加議員

石田知早人、鈴木裕士

4 研修内容

別紙のとおり

① 日時

令和 2 年 10 月 26 日（月） 午前 10 時から午後 5 時

② 訪問先

京都府京都市南区東九条下殿田町 70

京都テルサ東館 2 階「視聴覚研修室」

③ 説明者

講師 土山希美枝 龍谷大学政策学部教授

④ 研修項目

議会の広報公聴・質問力レベルアップ講座

(1) 市民と議会の「もやい直し」:議会広報と市民参加を考える

(2) 一般質問の機能を発揮させる:政策をとらえる質問力

⑤ 研修先の選定理由や目的

新人議員が議会の広報公聴の在り方を学び、併せて議員の質問力レベルアップを深め、議会活動向上を図るため。

⑥ 研修項目の概要説明

(1) 市民と議会の「もやい直し」:議会広報と市民参加を考える

- ・市民と議会のあいだにあるもの
- ・「市民にとって議会とはなにものか」政策議会のはなし
- ・「議会とはなにものか」を伝える方法
- ・広報と議員と議会の関係を整理する
- ・広聴から市民参加へ
- ・広報広聴にできること+コロナ禍中の IC/ICT

(2) 一般質問の機能を発揮させる:政策をとらえる質問力

- ・政策議会の一般質問
- ・一般質問はなぜ機能していないか
- ・一般質問の論点を構造化する
- ・事実を固めるための情報収集
- ・一般質問の「問い質しかた」を考える

- ・一般質問の機能を発揮させる

⑦ 主な質疑

質 コロナ禍での議会報告会で、報告内容をインターネットで動画配信する方法についてどのように考えるか。

答 本来、議会報告会は市民に向けての会であり、動画配信だけでは一方通行になる。インターネットでも意見を吸い上げる方法を考えるか、人数制限等、十分コロナ対策を施して開催した方が良いとの回答

⑧ 議員の意見

- ・一般質問は、議員による「わがまちの政策・制度の課題」についての争点提起の場である。一般質問は、議員にとって華やかで意義のあるものであることを再認識した。更なる磨き上げの必要性を実感した。
- ・「議員の一人一人は弱い立場ではあるが、議員でまとめれば議員として強いパワーを得ることができる。」との説明を受け、議会改革には会派を超えて市民のために議員間でまとまることの大切さを痛感した。

考察（小牧市への反映）

- ・小牧市にとって必要不可欠な政策・制度を整備するために議会がある。課題は無限、資源は有限であり、どれが「効果が高い政策」なのかを決断することを求められている。議会報告会・市民の意見を聴く会は、議会と市民をつなぐ重要な場であり、本市も更なる再構築が求められると思う。
- ・市民にとって議会とはなにものかを意識しながら、市民が必要不可欠とする政策・制度を整備するための機構としていくことが必要であると考ええる。
- ・議会報告会のうち市民の意見を聴く場は、市民の行政への意見を聴き、それをそのまま行政に伝えるのではなく、意見を議員活動の参考とするものと考ええる。この点を議員も市民も認識する必要がある。リモート会議については、会話の記録が残ることから、意見への対応は緊張感をもって臨む必要がある。